

仕事に家事に子育て、それに介護まで。

どう考えても、今は大変な時代。

夫婦で分担はもちろん、ある程度ふつきることも必要じゃないかな。

たんですよね。仕事でも何でも、やりたいことをいきなりできるわけがないのに。信用をなくしちゃって、仕事のない日が4年ほど続きました。やり直そう、となった際に事務所へ謝罪しに行ったのですが、その事務所には戻らないと太田が言うので、「私がやります」と言うしかありませんでした。2人は表に出る人ですから、私が裏方でやるしかありません。とにかく必死で、30代の記憶はほぼないです。私には、大変な中でも「爆笑問題をなんとかしたい」という強い思いがありましたし、後悔するのだけは嫌でした。起業を考える場合は、絶対に成し遂げたいという思いが必要になると思います。

社長として活躍しながら、不妊治療に取り組まれていたとうかがいました。

夫の両親、特にお父様が孫を

望んでおり、不妊治療が進んできたときだったので、30代で挑戦しました。ただ、当時の不妊治療は拘束時間がとても長かったんです。私は社長という立場なので時間を調整できましたが、普通に働いている方はかなり難しかったのではないのでしょうか。また、私は薬が合わなくて、体重が33キロまで落ちました。危険な状態でしたし、仕事が忙しくなったこともあって、一旦不妊治療を休むことにしました。その経験をテレビ番組で話したら反響が大きくて、人に言えずに悩んでいる方も多かったのだと思います。それからは、もつとオープンにしようと思えました。*顕微授精にも、3回挑戦しました。残念ながら、2つの受精卵は着床しませんでした。今は3回目の受精卵だけ預かってもらっています。

今、不妊治療は「妊活」と言ったりもするように、病気ではな

いのですよね。それでも最近、不妊治療で奥さんがボロボロになって心配という相談もあります。そういう場合は、1回お休みをお勧めしています。まじめな方はのめり込んでストレスになってしまうのですが、一旦休んだら妊娠できたという人もいます。急ぐ気持ちはわかりますが、違う方向に目を向けて、例えば夫婦で温泉に行ったりラックスするのもよいと思います。

ご自身のお母様との同居、光さんのお母様の施設への入居など、介護について教えてください。

どちらも一人っ子なので、いざ親の面倒を見ることになるだろうと思っていました。私の母が熱中症で搬送されたことをきっかけに、同居するようになったのですが、そのすぐ後に、今度は義理の母が転んで股関節を折ってしまつて…。一時は、両方の母との同居も考え悩みました。夫はちょっと待つてと言うばかり…。最終的には義母が、施設探しを私に一任してください、私たちの家の近くにできた

ところに入っていたきました。介護される側も過剰だと辛いようなので、やりすぎない方がよいのでしようね。お互いに意識して自由な部分をつくらないと窮屈ですから。結婚したら、相手の環境も含めて、家族で最後の事を話し合っておくべきです。遠慮したらだめ。もし、その通りにできないとしても、本人から意見を聞いておいた方がよいと思います。

読者に向けてメッセージをお願いします。

働き方、子育て、介護など、男女共同参画は難しいことです。夫婦や家族で役割分担をしないと、女性が働くなんて無理ですよ。女性の起業家を増やしたい、でも少子化だから子どもをなんとかしたい、けれど介護の問題もある…。どう考えても大変な時代になっていきますが、私は仕事だけでなく、何があっても楽しもうと思っています。せっかく経験しているんだから、あまり深く考えず、ふつきることも必要だと思います。誰にでも、山場はやってきますから。